

製品・サービス動向-国内

■アバー・インフォメーション：フル HD 対応光学 12 倍の PTZ カメラおよびセカンドスピーカーフォンに対応した、ビデオ会議用プロフェッショナルカメラシステムを発売

(プレスリリース: 8月3日、取材: 8月7日)



VC520 ミーティングカメラ Pro

(アバー・インフォメーション)

アバー・インフォメーション株式会社（東京都千代田区）は、ビデオ会議用プロフェッショナルカメラシステム「VC520 ミーティングカメラ Pro」の国内向け販売を8月3日より開始。価格はオープンプライス。

VC520 は、Web ベース・クラウドベース・ソフトウェアベースのビデオ会議ツール向けに、専用のカメラとマイク&スピーカーをパッケージにした製品。同社製品の特長でもある3年保証付き。

「V-CUBE ミーティング」、「Skype/Microsoft Lync」、「Cisco WebEx」、「Vidyo」、「Blue Jeans」、「Google Hangouts」、「FaceTime」といったビデオ会議/Web会議ツールをインストールしたパソコンにUSBコネクタで接続して使用する。なお、VC520 は、株式会社ブイキューブ（東京都目黒区）のV-Cube ミーティングサー

ビスの推奨機器となっている。

VC520 は、フル HD に対応した「PTZ カメラ」に加え、收音範囲 9m（直径）をカバーする「スピーカーフォン」、そして、それらを専用ケーブルで集線し、USB ケーブル 1 本でパソコン（Google Chromebook も含む）に接続する「USB ハブ」から構成されている。またカメラとスピーカーフォンを制御するリモコンも付く。なお、USB 接続はプラグアンドプレイに対応しており、VC520 を使用するための特別なソフトウェアのインストールなどは不要だ。

同社によると、これまではパソコンにこういったシステムを組み合わせるとなると、ビデオキャプチャーを介する必要があると、一般ユーザから見て敷居が高かった。そのため、VC520 のようなカメラ+スピーカーフォンを組み合わせた製品への要望が強かったという。

カメラについては、光学 12 倍ズームレンズ、パン（260°）、チルト（115°）、水平視野角 73° カメラを搭載し、壁掛けや天吊りも可能となっている（専用カメラマウント付属）。

加えて、コーデックのハードウェア処理（H.264）を行っており、パソコンに負担をかけずにエンコード処理を行えるため、高精細な 1080p 高解像度を実現しつつ、低照度でも高画質撮影が可能となっている。さらに、会議中のカメラ操作に便利な 10 カメラプリセットに対応している。

一方、スピーカーフォンは、10W スピーカーを本体の中央に内蔵し、その周りに 3 台のマイクを装備し、フルデュプレックス・ノイズリダクション・エコーキャンセラのビジネス用途に必須な各機能を持つ。また、オプションでもうひとつのスピーカーフォンをデイ

ジーチェーンで接続することも可能で、マイクの收音範囲をさらに広げることができる。VC520は小規模な会議室からセミナールームなどでの幅広い用途で活用できる。

VC520は、ソフトウェアPTZAppアプリによる「アドバンスセッティング」にも対応している。ホワイトバランス・明るさ・シャープ・上下反転などの画質設定機能のほか、カメラのズームイン/ズームアウト、診断/テストが行えるようになっている。これはフリーダウンロードのアプリとして提供する。

そのほか、リモコンについては、カメラのパン/チルト/ズーム調節機能、10カメラプリセット設定のほか、マイクスピーカのマイクミュートやスピーカーボリューム調節といった各操作が簡単に行えるようになっている。加えて、APIを提供しているためカスタマイズによって、ビデオ会議ツール（ソフトウェア）側のダイヤルやリモートカメラ制御などの操作も行えるようになっている。

VC520の販売は、7月発売の北米を皮切りにワールドワイドで日本を含め8月から。国内では、アバー・インフォメーションが株式会社アスク（東京都千代田区）など販売パートナーと協力してVC520を拡販していく体制をとっている。基本的に企業向けに展開していくが、学校などからの引き合いもすでにあるという。

「テレビ会議専用機では標準的な光学12倍をサポートしているほか、優れた映像と音声、セカンドスピーカーフォンに対応しており、クオリティに関しては専用機とあまり変わらない。加えて、当社独自の3年保証もある。VC520はあらゆるビデオ会議/Web会議ツールを本格的なビデオ会議室へアップグレードする。」（アバー・インフォメーション）

■ ブイキューブ：課金型のライブ配信マーケットプレイス「V-CUBE マーケット」にオンディマンド配信を追加

（プレスリリース: 8月5日）

株式会社ブイキューブ（東京都目黒区）は、課金型ライブ配信マーケットプレイス「V-CUBE マーケット」にオンディマンド配信の課金販売機能を追加したと発表。

V-CUBE マーケットは、2014年より提供開始。これまでオンラインセミナーを利用して、課金型の有料セミナーの配信サービスを行ってきた。

今回発表されたオンディマンド配信の課金販売機能によって、V-CUBE マーケットを通してビジネスを展開している利用事業者は、たとえば、過去に開催して収録したセミナーや講義の録画データを使い、顧客や生徒に向けた有料課金の動画配信サービスを簡単に開始することができるようになる。

加えて、ライブセミナーに参加できなかった場合に対して、ライブ配信とオンディマンド動画を組み合わせるなど録画コンテンツを後日閲覧できるパッケージといった販売スタイルを拡張することも可能になる。

利用事業者からは、「収録済みの動画資産を多数保有しており、スマートフォンやタブレットからも視聴しやすいオンラインでも配信・課金販売することで手軽にビジネスを開始したいという要望があった。

ブイキューブによると、今後もV-CUBE マーケットの提供を通じて、利用ユーザーのワークスタイルやライフスタイルに合わせ、柔軟に学びの機会を提供できるサービスの実現に貢献するとしている。

ビジネス動向-国内

■UC ソリューションを提供するデルタパス、 日本事務所開設、UC 業界で豊富な実績の奥 田 智巳 氏が日本代表に就任

(プレスリリース: 7月6日、取材: 7月30日)

「当社の日本国内の事業については、4年前から、ディストリビュータ2社を通して、UCソリューションで実績を積み重ねてきた。この度、UC業界で豊富な実績がある奥田 智巳 氏を日本代表に迎え、日本法人を設立（デルタパスジャパン株式会社、7月1日）することで日本の事業を加速する考えだ。」（同社 CEO David Liu 氏）



2001年の設立以来の実績を記者に対して説明する David Liu 氏（デルタパスジャパン）

デルタパス（Deltapath、設立2001年、社員28名）は、香港を拠点に、UCのコアとなる、マルチベンダーベースのIP-PBXソリューション「frSIPプラットフォーム」をワールドワイドに提供している。今回の日本事務所開設は、世界市場開拓の一步と考えている。

frSIPプラットフォームは、オープンスタンダード、拡張性、柔軟なカスタマイズ、仮想化環境などに対応しており、導入・運用管理がシンプルなどころも特長だ。

加えて、米国ポリコム認定テクノロジーパートナーでもあり、すでに50万台以上のポリコム端末がfrSIP

プラットフォーム上で稼働しているという。

デルタパスが提供している製品は、キャリアグレードの仕様に対応したスタンダードベースのSIPサーバ「Deltapath frSIP」と、ビデオ会議インフラ環境構築をシンプルにするオールインワンソリューション「Deltapath Video Mobility Controller (VMC)」のふたつの製品になる。

Deltapath frSIPは、カスタマイズが柔軟であるほか、他のシステムとのインテグレーションがしやすいスタンダードなSIPベースのアーキテクチャーを採用している。信頼性の高い設計に基づき、SIP互換性、HDビデオ・HD音声対応（ポリコム社コーデック対応）、オープンAPIスイート、PBX機能（ビジネスホン同等の機能）といった特長をもっている。

また、Lync (Skype for Business) と連携することで、エンタープライズボイス機能を提供したり、Lync とSIP/WebRTC/H.323 とをつないだりといった環境を提供することも可能だ。

さらには、スマートフォンやタブレット（iOS/Android）からビデオ会議が簡単に行える、エンタープライズモビリティ機能も提供されている。

そのほか、ニーズに応じて多くのアプリケーションモジュールも提供している。標準搭載としてはSIP-PBX やシステムバックアップ、システムデバックなど、また、オプションでは、通話録音、ビデオ通話録画、コールセンタ、コール課金、CRM統合などの各種モジュールをユーザは選択することもできる。

「Deltapath frSIPは、オープンスタンダードなSIPプロトコルを用いて開発しているため、他社システムとインテグレートしやすい、プレーンなSIPサーバと言える。テイラーメードなシステムを構築する上で、「使いやすい」ところがこの製品としての大きな強みだ。既に、国内大学病院や大手ゴルフ場などでも採用されている。」（日本代表 奥田 智巳 氏）

一方、VMCは、リーズナブルな価格でビデオインフ

ラをシンプルにするところが特長で、ビデオ・ファイアーウォールやセッションボーダコントローラ (SBV)、ポリコム社モビリティコントローラなどの機能をオールインワンで提供するアプライアンス製品だ。

基本的に、ポリコム SIP Phone/VC 端末ならびにインフラストラクチャ製品とシームレスに動作するように最適化されており、そのなかで、G.7221C/Siren 14 や H.264 ハイプロファイルなどポリコムの強みであるコーデックもサポートしている。

デルタパスによると、ポリコム製品から見て、デルタパスの製品は、ポリコム製品の機能を拡張するところが特徴といえる。ポリコム社にも同様なソリューションはあるが、大規模なシステム運用環境に適しており、一方同社のソリューションは中小規模システムの運用に最適と説明する。「もちろん、他社製品とも動作する。」(同 奥田 氏)



David Liu 氏 (左) と奥田 智巳 氏(デルタパスジャパン)

同社の製品の優位性については、組織内の UC ソリューションの使い勝手を上げ、使用頻度とカバレッジを改善することで、生産性や投資効果を高めることが出来る点にあるとしている。

日本法人では今後、国内ディストリビュータである、企業・官公庁・教育分野に強いメディアマート株式会社と、病院や医療方面に実績が豊富な株式会社ニュー

クリアスとタッグを組み、拡販に向け、販売代理店支援やマーケティング、顧客サポートなどを実施していくとしている。また将来的には品質管理ラボの構築も検討している。

「今年度は、ヘルスケアやビデオモビリティに注力しつつ、置き換えユーザやポリコムユーザの機能拡張、Skype for Business 向けなどへの販売強化に力を入れていく予定だ。」(同 奥田氏)

今年に入り、ベンチャーキャピタルよりシリーズ A の出資 (5,000 万ドル) を受けた。これから企業としての成長のスピードを上げていくとしている。

PR

>株式会社日立ハイテクノロジーズ

<http://cnar.jp/Hitachi-HighTech3.htm>

セミナー・展示会情報

<国内>

■BIG PAD を活用したクラウド型 Web 会議サービス

「TeleOffice」体感セミナー

日時： 8月19日(水) / 9月9日(水) / 9月16日(水)
14:00~16:00

会場：シャープ株式会社 東京支社 (東京都港区)

主催：シャープビジネスソリューション株式会社

詳細・申込：

<http://www.sharp-sbs.co.jp/event/regular/teleoffice-a.html>

■安定した映像・音声品質で、iPad でも快適！

Web 会議システム「IC3」事例と活用セミナー

日時：8月20日(木) 15:30~17:30 (受付：15:00)

会場：キヤノン IT ソリューションズ本社 (東京都品川区)

主催：キヤノン IT ソリューションズ株式会社

詳細・申込：<https://reg.canon-its.co.jp/public/seminar/view/300>

■Polycom Day--Microsoft Lync とポリコムの併用で
コミュニケーションに臨場感をもたらし、多様化に対応！
日時：8月25日(火) 15:30～16:40 (開場:15:15)
場所：ポリコムジャパン(東京都新宿区)
主催：ポリコムジャパン株式会社
詳細・申込：<http://www.polycom.co.jp/company/events.html>

■テレビ会議／Web 会議頂上決戦！
貴社を強くする手段がきっと見つかります
日時：8月25日(火) 13:30～18:00 (受付：13:00～)
会場：大塚商会関西支社 5F セミナールーム
主催：株式会社大塚商会関西支社
協賛：ポリコムジャパン株式会社／日本マイクロソフト株式会社／シスコシステムズ合同会社／ソニーマーケティング株式会社／株式会社ブイキューブ (順不同)
詳細・申込：<http://event.otsuka-shokai.co.jp/15/0825vcuc/>

■ポリコム&プリンストン ソリューションフォーラム
2015
日時：第1回目：9月2日(水) 14:00～17:00
(受付：13:30) ポリコム社ビデオ・プラットフォームソリューションの最新情報
第2回目：9月3日(木) 14:00～16:30 (受付：13:30)
ポリコム社ボイスソリューションの最新情報
会場：ポリコムジャパンセミナールーム(東京都新宿区)
主催：ポリコムジャパン株式会社、株式会社プリンストン
詳細・申込：
<http://www.princeton.co.jp/news/2015/08/201508041100.html>

■Adobe Connect ハンズオンセミナー
『簡単に始められる Web 会議やセミナーを体験』
日時：9月9日(水) 15:00～17:00 (開場 14:30)
会場：株式会社サムライズ セミナールーム(東京都品川区)
主催：株式会社サムライズ
詳細・申込：<http://www.samuraiz.co.jp/event/20150909.html>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>
海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。
Web の方の情報もご参照ください。

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：
http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/
>2014年-2015年：
http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社
<http://www.catalog-square.co.jp>

<<編集後記>>

今回の号から、記事ごとに各社(プレスリリース発表企業もしくは取材先)へのリンクを設定いたしました。それぞれの記事の中にある太文字で表示されている社名をクリックしていただきますと、その会社のウェブサイトへアクセスできます。

CNAレポート・ジャパン 2015年8月15日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp